

授業科目 美を楽しむ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・スポ・社会・看護
丹 治 嘉 彦		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 人間が生きていく中で、芸術というものがいかに機能しているかを実技と理論を通して多角的に学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 芸術がたんにお飾りとして位置づけられているのではなく、人間社会の中でダイナミックに機能し、そして生きる糧となっていることを授業の中心課題とする。またこのことを実践するために簡単なスケッチやデッサンを行う。また学外授業として美術館で作品展等を鑑賞して立体的に芸術の存在意義を学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス				
2	芸術・美術の意味				プリントを使っでの学習
3	芸術・美術の意味				DVDを観ながらの学習
4	芸術・美術の意味				DVDを観ながらの学習
5	実技				校内スケッチ
6	実技				校内スケッチ
7	実技				校内スケッチ及び講評会
8	生活の中に入るこむ芸術				現代美術の意味をスライドを通して学ぶ
9	生活の中に入るこむ芸術				DVDを鑑賞しながらの学習
10	美術館展覧会鑑賞				美術館において学芸員の解説をもとに鑑賞会を行う
11	社会と美術				美術館以外で展開しているアートを学ぶ
12	社会と美術				美術館以外で展開しているアートを学ぶ
13	社会と美術				美術館以外で展開しているアートを学ぶ
14	これからの社会における美術の意義				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート、スケッチブックの提出、および出席を評価の基準とします。			【履修上の留意点】		